


DELL EMC OpenManage Server Update Utility

バージョン 18.11.00

メモ、注意、警告

 **メモ:** 製品を使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

 **警告:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

章 1: OpenManage Server Update Utility について	5
主な特徴と機能.....	5
本リリースの新機能.....	6
対応オペレーティングシステム.....	6
Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス.....	6
章 2: グラフィカルユーザーインターフェースモードについて	8
GUI モードでの SUU の起動.....	8
必須条件エラーメッセージ.....	8
ソフトウェア必須条件エラーの修正.....	9
ハードウェア必須条件エラーの修正.....	9
前提条件メディアの作成.....	9
比較レポート.....	10
重大度のレベル.....	10
比較レポートの機能.....	10
システムコンポーネントのアップグレード.....	11
システムコンポーネントのダウングレード.....	11
システムコンポーネントのアップデート.....	12
アップデートエラー.....	12
章 3: コマンドラインインターフェースモードについて	13
CLI モードでの SUU の起動.....	13
CLI コマンドのリスト.....	13
章 4: Server Update Utility とその他コンポーネントとの統合	15
SUU と OpenManage Essentials との統合.....	15
SUU を使用したカタログソースの選択.....	15
Repository Manager を使用したカスタム SUU の作成.....	15
SUU のエクスポート.....	16
章 5: 既知の問題とよくあるお問い合わせ (FAQ)	18
既知の問題.....	18
Red Hat Enterprise Linux 7.2 オペレーティングシステムで SUU GUI を開くことができません.....	18
Microsoft Windows Small Business Server 2008 オペレーティングシステムにおけるインベントリエラー.....	18
64 ビット Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムにおける DUP の失敗.....	19
オペレーティングシステムのデバイスを有効にする.....	19
Linux システムライブラリ.....	19
Linux アップデートの実行.....	19
Progress オプションを使用した SUU の実行.....	19
複数デバイスのアップデート.....	19
PERC ファームウェアのアップデート.....	20
同じセッションでのシステムインベントリの再起動.....	20
ネットワーク経由の SUU の実行.....	20

一時フォルダの削除.....	20
H661 ファームウェアのアップデート.....	20
RAC 仮想メディアの使い方.....	20
SUU ディレクトリ名での特殊文字の使用.....	20
RAC DUP パッケージの実行.....	21
よくあるお問い合わせ (FAQ)	21

OpenManage Server Update Utility について

OpenManage Server Update Utility は、アップデートを識別してシステムに適用するために ISO で使用できるアプリケーションです。SUU は DVD ベースのアプリケーションではなくなりました。ISO を USB ドライブ、またはネットワークドライブにコピーしてください。

SUU を使用すると、Dell PowerEdge システムをアップデートしたり、SUU をサポートするシステムに使用できるアップデートを表示したりすることができます。SUU はお使いのシステムに現在インストールされているコンポーネントのバージョンを、『Dell PowerEdge Server Update Utility』メディアに収録されているコンポーネントのバージョンと比較します。SUU は、バージョンの比較レポートを表示し、コンポーネントをアップデートするための多様なオプションを提供します。

メモ: 管理者権限 (Microsoft Windows の場合) または root 権限 (Linux の場合) のあるユーザーのみが SUU を使用したアップデートを実行できます。

メモ: SUU に含まれているアップデートは、デルの第 12 世代から第 14 世代の PowerEdge サーバ用アップデートのみです。SUU ISO は、Microsoft Windows オペレーティングシステム用の 64 ビット、および Linux オペレーティングシステム用の 64 ビットの 2 つのコンポーネントに分割されています。

トピック：

- ・ [主な特徴と機能](#)
- ・ [本リリースの新機能](#)
- ・ [対応オペレーティングシステム](#)
- ・ [Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス](#)

主な特徴と機能

本項では、SUU の主な特徴と機能について説明します。

表 1. 機能と機能性

機能	説明
必須条件エラーメッセージ	必須条件が満たされていない場合に表示されるエラーメッセージの一覧です。詳細については、「 必須条件エラーメッセージ 」を参照してください。
必須条件エラーの修正	ハードウェアまたはソフトウェアの必須条件エラーを修正することができます。詳細については、「 ソフトウェア必須条件エラーの修正 」および「 ハードウェア必須条件エラーの修正 」を参照してください。
比較レポート	システムにインストールされているコンポーネントのバージョンが、リポジトリ上のバージョンと一致しないもののリストを表示します。詳細については、「 比較レポート 」を参照してください。
システムコンポーネントのアップグレード、ダウングレード、またはアップデート	バージョンがリポジトリのバージョンと異なる場合、システムコンポーネントのアップグレード、ダウングレード、またはアップデートを行うことができます。詳細については、「 システムコンポーネントのアップグレード 」、「 システムコンポーネントのダウングレード 」、および「 システムコンポーネントのアップデート 」を参照してください。
GUI モードまたはネットワーク上の場所からの SUU の起動	SUU を実行し、複数システム上のコンポーネントをアップグレード、ダウングレード、アップデートすることができます。詳細については、「 GUI モードでの SUU の起動 」を参照してください。
CLI コマンド	CLI モードで比較およびアップデートを実行するためのコマンドのリストを表示します。詳細については、「 CLI コマンドのリスト 」を参照してください。
依存関係	デバイスのために使用できるアップデートについての情報を提供する機能です。SUU は、一連の条件または要件が満たされているかどうかを判断するために、特定のツールおよびアプリケーションを有効化します。これらの条件または要件は依存

表 1. 機能と機能性 (続き)

機能	説明
	関係と呼ばれています。依存関係のタイプには、前提条件と相互必要条件があります。詳細については、「 比較レポート 」を参照してください。

本リリースの新機能

- ・ 新プラットフォームのサポート：
 - PowerEdge MX740C および MX840C

対応オペレーティングシステム

次の Microsoft Windows オペレーティングシステム。

- ・ Microsoft Windows Server 2016
- ・ Microsoft Windows Server 2012 R2
- ・ Microsoft Windows Server 2012、Essentials、Enterprise、Datacenter、および Foundation (x64 ビット) Edition
- ・ Microsoft Windows Server 2008 R2 Foundation、Standard、Enterprise、および Datacenter Edition (SP1)
- ・ Microsoft Windows Server 2008 SP2 Foundation、Standard、Enterprise、Datacenter、および Web (x86、x64 ビット) Edition (SP2)

Linux オペレーティングシステム：

- ・ SUSE Linux Enterprise Server 12 SP3
- ・ SUSE Linux Enterprise Server 11 SP4 (64 ビット)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 7.5 (64 ビット)
- ・ Red Hat Enterprise Linux 6.10 (64 ビット)

仮想オペレーティングシステム：

- ・ Citrix XenServer 7.1

SUU がサポートされている各種システムおよびオペレーティングシステムの詳細情報については、dell.com/openmanagemanuals にある、『[Dell システムソフトウェアサポートマトリックス](#)』を参照してください。

Dell EMC サポートサイトからのドキュメントへのアクセス

必要なドキュメントにアクセスするには、次のいずれかの方法で行います。

- ・ 次のリンクを使用します。
 - Dell EMC エンタープライズシステム管理、Dell EMC リモート エンタープライズシステム管理、および Dell EMC 仮想化ソリューションのマニュアル — www.dell.com/esmmanuals
 - Dell EMC OpenManage マニュアル — www.dell.com/openmanagemanuals
 - iDRAC マニュアル — www.dell.com/idracmanuals
 - Dell EMC OpenManage Connections エンタープライズシステム管理 マニュアル — www.dell.com/OMConnectionsEnterpriseSystemManagement
 - Dell EMC 保守ツール マニュアル — <https://www.dell.com/serviceabilitytools>
- ・ Dell EMC サポート サイトからアクセスします。
 1. <https://www.dell.com/support> にアクセスします。
 2. [[すべての製品の参照](#)] をクリックします。
 3. [[すべての製品](#)] ページで [[ソフトウェア](#)] をクリックして、次の中から必要なリンクをクリックします。
 - [統計](#)
 - [クライアントシステム管理](#)
 - [エンタープライズアプリケーション](#)
 - [エンタープライズシステム管理](#)
 - [メインフレーム](#)

- オペレーティングシステム
- 公共機関向けソリューション
- 保守ツール
- サポート
- ユーティリティ
- 仮想化ソリューション

4. マニュアルを表示するには、該当する製品をクリックして、該当するバージョンをクリックします。

検索エンジンを使用します。

- 検索 ボックスに名前および文書のバージョンを入力します。

グラフィカルユーザーインターフェースモードについて

グラフィカルユーザーインターフェース (GUI) は、比較およびアップデート実行のためのインタラクティブなアプローチを提供します。

GUI を使って、以下のことができます。

- ・ システムによってインベントリされたデバイスバージョン、適用 DUP バージョン、およびアップデートが必要なデバイスを示すシステム比較レポートの表示。
- ・ アップグレード、ダウングレード、またはシステムセットアップデートを実行する。
- ・ SUU 内の全プラットフォームの対応コンポーネントを表示するためのリポジトリの参照。

トピック：

- ・ GUI モードでの SUU の起動
- ・ 必須条件エラーメッセージ
- ・ ソフトウェア必須条件エラーの修正
- ・ ハードウェア必須条件エラーの修正
- ・ 比較レポート
- ・ システムコンポーネントのアップグレード
- ・ システムコンポーネントのダウングレード
- ・ システムコンポーネントのアップデート
- ・ アップデートエラー

GUI モードでの SUU の起動

SUU は、ネットワーク上の場所、または SUU ISO がマウントされている場所から実行することができます。複数システムでコンポーネントをアップデートするには、次の手順を実行します。

1. SUU がインストールされているネットワーク上のシステムにアクセス、または ISO がマウントされている場所のパスを選択します。
2. SUU GUI を起動するには、`suulauncher.exe` ファイルをダブルクリックします。
アップデートする必要があるコンポーネントが **比較レポート** に表示されます。

メモ: `suulauncher.exe` ファイルは、**Microsoft Windows** を実行しているシステムに適用されます。

メモ: `./suu -g` コマンドは、**Linux** を実行しているシステムに適用されます。

3. アップデート、アップグレード、または **ダウングレード** をクリックします。

メモ: 1回のセッションですべてのコンポーネントをアップデートするには、システムセットアップデートを有効にするを選択した後でアップデートをクリックします。

4. はい をクリックして続行するか、いいえ をクリックしてキャンセルします。
はい をクリックすると、SUU がアップデート、アップグレード、またはダウングレードの進行状況を示す **アップデート ダイアログボックス** を表示します。
5. アップデート、アップグレード、またはダウングレードが完了したら、**OK** をクリックします。
比較レポート にアップデートが反映されます。

必須条件エラーメッセージ

エラーメッセージ、および各エラーに対する処置は次のように表示されます。

ソフトウェア必須条件エラーメッセージ

Prerequisite Failure Message:

Your system does not meet the required prerequisites for installing the DELL OpenManage software component. Therefore, the row for the software component is disabled in the Comparison Report. Click Continue to update the applicable hardware components.

ハードウェア必須条件エラーメッセージ

Prerequisite Failure Message:

Your system does not meet the required prerequisites for some of the hardware component(s). Therefore, all the rows for the hardware component(s) are disabled in the Comparison Report. Click Continue to update the applicable Dell OpenManage software component.

ソフトウェアとハードウェアの必須条件エラーメッセージ

Prerequisite Failure Message:

Your system does not meet the required prerequisites for some of the hardware component(s) and for installing the Dell OpenManage software component. Therefore, all the rows will be disabled in the Comparison Report.

ソフトウェア必須条件エラーの修正

SUU を GUI モードで起動し、必須条件チェックに失敗した場合は、以下を行ってください。

1. OpenManage SUU バージョン 7.0 以降をインストールします。
2. コンポーネントの [アップグレード](#)、[ダウングレード](#)、または [アップデート](#) を続行します。

ハードウェア必須条件エラーの修正

SUU を GUI モードで起動し、ハードウェアコンポーネントの必須条件チェックに失敗した場合、コンポーネントのアップグレード、ダウングレード、またはアップデートを進める前に、ハードウェアの必須条件をインストールします。システムメモリ使用率に関連する DUP HDD ファームウェアアップデートユーティリティには、サーバ内に少なくとも 8~16 GB RAM が必要です。

ハードウェアの必須条件をインストールするには、次の手順を実行します。

1. 必須条件メディアを使用して、必須条件レベルを満たすためにシステムをアップデートします。
 - ① **メモ:** システム BIOS で、メディアドライブの起動順序がシステムハードドライブよりも先になるように設定します。
2. 前提条件を満たしていないシステムの場合は、前提条件メディアでシステムを再起動します。
 - ① **メモ:** 必須条件のアップデートを完了するために、さらに再起動が必要になる場合があります。メディアの取り出しは、それを指示するメッセージが表示されるまでは行わないでください。
3. プロンプトが表示されたら、必須条件メディアを DSU メディアに交換してシステムを再起動します。

前提条件メディアの作成

前提条件メディアを作成するには、次の手順を実行します。

1. dell.com/support にアクセスします。
2. サポートページで、**製品を表示する > サーバ、ストレージ、ネットワーク > PowerEdge** の順に選択して、使用可能な製品を参照します。
3. **製品モデル**を選択します。
4. **ドライバおよびダウンロード** をクリックします。
5. **Category** (カテゴリ) ドロップダウンリストから、**Systems Management** (システム管理) を選択します。ドライバの重要性を選択することもできます。使用可能なオプションは **[すべて]**、**緊急**、**推奨**、**オプション** があります。
6. 表示された結果表の **File Title(s)** (ファイルタイトル) 列から、**CD ISO - PowerEdge Updates Prerequisites v1.0** をクリックします。
7. **今すぐダウンロード** をクリックして、**PE Updates prereq cd.iso** ファイルをシステムに保存します。メディアバーニングプログラムがあるシステムにこのファイルをコピーして、.iso ファイルからブータブルメディアを作成します。このブータブルメディアが必須条件メディアとなります。

比較レポート

SUU は、システムにインストールされたコンポーネントのバージョンと、リポジトリ内にある使用可能なバージョンとを比較して、その結果を **比較レポート** に表示します。比較レポート に表示されるフィールドは次のとおりです。

- ・ **選択** - コンポーネントを選択します。
- ・ **状態** - 状態をアイコンとして表示し、各アイコンは、アップグレード、ダウングレード、前提条件アップデートのみ、前提条件および相互必要条件の両方、相互必要条件のみ、といった異なる状態を示します。
- ・ **重要性** - アップデートの重要性を示します。
- ・ **パッケージ名** - インベントリからパッケージ名を表示します。
- ・ **コンポーネント** - コンポーネントの名前を表示します。
- ・ **タイプ** - インベントリから、リストされているデバイスのタイプを表示します。
- ・ **現在のバージョン** - システムの現在のバージョンを表示します。
- ・ **最新バージョン** - リポジトリにある、アップデートされる予定の最新使用可能バージョンを表示します。
- ・ **前提条件** - 適用する必要がある前提条件のリストを表示します。
- ・ **相互必要条件** - デバイスに適用する、相互必要条件のリストを表示します。これらはオプションです。

メモ: 相互必要条件の適用 チェックボックスを選択すると、リストされた相互必要条件が適用されます。

重大度のレベル

比較レポートの **重大度** の行には、そのアップデートの適用に関する重大度が示されます。重大度レベルの詳細とそれぞれのステータスについては、表を参照してください。

表 2. 重大度のレベル

重大度のレベル	ステータス
最優先	このアップデートには、ご使用のシステムの信頼性および可用性を向上させる変更が含まれています。 このアップデートをただちに適用することをお勧めします。
Recommended (推奨)	このアップデートには、ご使用のシステムソフトウェアを最新に保ち、他のシステムモジュール (ファームウェア、BIOS、ドライバ、およびアプリケーションなど) との互換性を維持するための機能強化や機能変更が含まれています。 次にスケジュールされているアップデートサイクルで、このアップデートを適用することをお勧めします。
オプション	このアップデートには、特定の設定を行っている場合にのみ適用される変更、またはお使いの環境によっては適用されない可能性のある新機能が含まれています。 お使いのシステムに適用されるかどうかを判断するために、アップデートの詳細を確認することをお勧めします。
適用なし	このアップデートは、お使いのシステムに適用されません。システムのコンポーネントのバージョンがリポジトリのバージョンと同一のため、アップデートを行う必要はありません。



比較レポートの機能

比較レポートは、表示、並べ替え、エクスポートを行うことができます。

表 3. 比較レポートの機能

タスク	Action
レポートの表示	レポートを表示するには、左ペインでお使いのシステムのホスト名をクリックします。

表 3. 比較レポートの機能（続き）

タスク	Action
列の並べ替え	列を並べ替えるには、列名をクリックします。  メモ: 列は昇順または降順に並べ替えられます。
レポートのエクスポート	レポートをエクスポートするには、レポートのエクスポート をクリックします。  メモ: レポートは .csv、.html、または .xml 形式でシステムに保存できます。 Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムの場合は、レポートの名前またはパスが 260 文字を超えないようにします。 Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、レポートの名前が 255 文字、またはパスが 4096 文字を超えないことを確認してください。


システムコンポーネントのアップグレード

SUU は、システムにインストールされているコンポーネントを、リポジトリ内の利用可能なコンポーネントのバージョンと比較します。システム内のコンポーネントがリポジトリのバージョンよりも古い場合には、**比較レポート** の右上隅にある **アップグレード** ボタンが有効になります。

リポジトリのコンポーネントをアップグレードするには、次の手順を実行します。

1. アップグレードするコンポーネントを選択します。
2. **アップグレード** をクリックして、選択したコンポーネントを適用します。
3. **アップデートの確認** ダイアログボックスで、**はい** をクリックして確定して次に進むか、**いいえ** をクリックしてキャンセルします。
 コンポーネントのアップグレードを実行中、SUU はアップデートレポートを表示します。アップグレードが完了すると、**アップデート完了** ダイアログボックスが表示されます。
4. **OK** をクリックします。

アップグレードのステータスは**比較レポート**で確認できます。

-  **メモ:** アップグレードを実行すると、SUU はすべてのアップデートパッケージをシステムの一時ディレクトリ、`<%システムドライブ%>\dell\suu (Microsoft Windows オペレーティングシステムを実行しているシステム)` および `/var/log/dell/suu (Linux オペレーティングシステムを実行しているシステム)` にコピーします。SUU は、アップグレードの処理が完了した後にこの一時ディレクトリを削除します。アップグレード処理を完了させるために再起動が必要な場合は、再起動処理が完了するまでディレクトリは維持されます。

システムコンポーネントのダウングレード

SUU は、システムにインストールされているコンポーネントを、リポジトリ内の利用可能なコンポーネントのバージョンと比較します。システム内のコンポーネントがリポジトリのバージョンよりも新しい場合には、SUU で比較レポートの右上隅にある **ダウングレードの有効化** ボタンが有効になります。

リポジトリのコンポーネントをダウングレードするには、次の手順を実行します。

1. **ダウングレードを有効にする** を選択します。
 SUU は **システムセットアップデートを有効にする** を無効にし、リポジトリバージョンよりも新しいコンポーネントのバージョンのみをダウングレードに選択します。
2. **ダウングレード** を選択します。ダウングレード可能なすべてのコンポーネントが自動的に選択されます。
3. **アップデートの確認** ダイアログボックスで、**はい** をクリックして確認して次に進むか、**いいえ** をクリックしてキャンセルします。
 コンポーネントのダウングレードを実行中、SUU はアップデートレポートを表示します。ダウングレードが完了すると、**アップデート完了** ダイアログボックスが表示されます。
4. **OK** をクリックします。
 ダウングレードのステータスは、**比較レポート** で確認できます。

システムコンポーネントのアップデート


SUU は、システムにインストールされているコンポーネントを、リポジトリ内の利用可能なコンポーネントのバージョンと比較します。システム内のコンポーネントのバージョンがリポジトリのバージョンよりも新しい場合は、SUU で比較レポートの右上隅にある **アップデート** ボタンが有効になります。

コンポーネントを1回のセッションでアップグレード/ダウングレードするには、次の手順を実行します。

1. **システムセットアップアップデートの有効化** を選択します。
SUU は **ダウングレードの有効化** を無効にし、**アップグレード** が **アップデート** に変わります。アップデート可能なすべてのコンポーネントが、**比較レポート** で選択されます。
2. **アップデート** ボタンをクリックします。
アップデートするコンポーネントのリストを含む **アップデートの確認** ダイアログボックスが表示されます。
3. **はい** をクリックしてアップデートを続けるか、**いいえ** をクリックしてアップデートをキャンセルします。
はい をクリックすると、**アップデート** ダイアログボックスが開き、アップデートの進行状況が表示されます。
4. アップデートが完了したら、**OK** をクリックします。
アップデートのステータスが、**比較レポート** に反映されます。

アップデートエラー

システムコンポーネントのアップデート中に、特定のコンポーネントのアップデートが失敗した場合は、その他のコンポーネントのアップデートの**継続**または**停止**を選択することができます。**アップデートエラー時に中止**を選択すると、SUU は、その他のコンポーネントのアップデートを停止します。

 **メモ:** アップデートエラー時に**中止**は、**複数**コンポーネントのアップデートを選択した場合にのみ有効になります。

コマンドラインインタフェースモードについて

コマンドラインインタフェース (CLI) モードでは、比較およびアップデートを実行するために、コマンドプロンプトからコマンドを使用することが可能になります。

DSU ルートディレクトリから、CLI モードでの SUU を実行します。ネットワーク共有の場所から SUU を実行している場合は、DSU ISO の内容を共有ディレクトリにコピーし、この共有ディレクトリから CLI を実行してください。

CLI を使って、以下のことができます。

- ・ 比較およびアップデートの実行。コマンドのリストについては、「[CLI コマンドのリスト](#)」を参照してください。
- ・ アップデート進行状況の表示。

トピック：

- ・ [CLI モードでの SUU の起動](#)
- ・ [CLI コマンドのリスト](#)

CLI モードでの SUU の起動

SUU は、SUU ISO がマウントされているディレクトリから実行することができます。複数システムでのコンポーネントのアップデートを CLI モードで実行するには、次の手順を実行します。

1. SUU がインストールされているシステムにアクセス、または ISO がロードされている場所のパスを選択します。
2. `suu - c` または `suu - u` コマンドを実行すると、比較レポートが表示され、すべてのコンポーネントがアップデートされます。

CLI コマンドのリスト

表 4. CLI コマンドリスト

CLI コマンド構文	コマンドの説明
<code>-- ? -- h -- help</code>	ヘルプメッセージを表示します。
<code>-- g -- gui</code>	SUU グラフィカルユーザーインタフェースを開きます。 ⓘ メモ: Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、このオプションは、X Window システムからのみ使用することができます。
<code>-- u -- update</code>	システムコンポーネントをリポジトリレベルにアップデートします。リポジトリ内のコンポーネントよりも上のバージョンのシステム内コンポーネントは、確認プロンプトを表示せずにダウングレードされます。これは必ずしも推奨されるものではありません。
<code>-- e -- upgradeonly</code>	現在システムにインストールされているバージョンよりも新しいすべてのコンポーネントのリポジトリバージョンをアップグレードします。CLI では個別のコンポーネントのアップグレードを行うことはできません。これを行うには、GUI を使用してください。
<code>-- n -- downgradeonly</code>	リポジトリのコンポーネントよりも新しいシステムコンポーネントすべてをリポジトリのバージョンにダウングレードします。 ⓘ メモ: コンポーネントを個別にダウングレードすることはできません。
<code>-- p -- progress</code>	アップデート またはダウングレードの進行状況を表示します。

表 4. CLI コマンドリスト (続き)

CLI コマンド構文	コマンドの説明
— c — comparison	現在のコンポーネントを比較します。
— d — directory	イベントログの転送先をデフォルトの場所とは異なるディレクトリに指定します。
— s — stoponfail	最初のコンポーネントのアップデート中にエラーが発生した場合に、アップデートを中止します。
— iprog — inventoryprogress	システムのコンポーネントとリポジトリ内のコンポーネントとの比較の進行状況をパーセントで示します。
— nc — nocoreq	システムに適用できる相互必要条件をフィルタします。

Server Update Utility とその他コンポーネントとの統合

SUU と他のコンポーネントと統合する可能性には、次のようなものがあります。

- ・ SUU と OpenManage Essentials との統合
- ・ Repository Manager を使用したカスタム SUU の作成
- ・ SUU のエクスポート

トピック：

- ・ SUU と OpenManage Essentials との統合
- ・ Repository Manager を使用したカスタム SUU の作成
- ・ SUU のエクスポート

SUU と OpenManage Essentials との統合

OpenManage Essentials は、企業ネットワーク内のシステム、デバイス、およびコンポーネントの包括的な表示を提供するハードウェア管理アプリケーションです。システムおよびその他デバイスのためのウェブベースの1対多システム管理アプリケーションである OpenManage Essentials では、次が可能です。

- ・ システムの検出およびインベントリ
- ・ システム正常性の監視
- ・ システムアラートの表示および管理
- ・ システムアップデートの実行
- ・ ハードウェアインベントリおよび準拠レポートの表示

SUU を使用したカタログソースの選択

1. OpenManage Essentials を起動します。
2. 管理 > システムのアップデート > カタログソースの選択をクリックします。
3. ファイルシステムソースを使用 (SUU) をクリックします。
4. 参照 をクリックして、catalog.xml または catalog.cab ファイルを選択します。
5. 今すぐインポート をクリックします。

Repository Manager を使用したカスタム SUU の作成

DRM を使用してシステム用のカスタム SUU を作成することができます。

1. DRM を起動します。
2. リポジトリを作成するか、開きます。
3. エクスポートするバンドルを選択します。表示されたバンドルのリストから、エクスポート をクリックします。
4. バンドルのエクスポート ダイアログボックスで、次へ をクリックします。
5. エクスポート先 ダイアログボックスで、SUU として ISO にエクスポート を選択して、次へ をクリックします。
必要なプラグインがインストールされているかどうかをチェックしています ... が表示されます。
 - ① **メモ:** SUU としてディレクトリにエクスポート を選択すると、出力パッケージは SUU コンテンツをディレクトリ形式で作成します。
 - ① **メモ:** 必要なプラグインがシステムにインストールされていない場合は、ここをクリックして、プラグインをインストールする のリンクが表示されます。

6. 必要なプラグインをインストールするには、**ここをクリックしてプラグインをインストール** リンクをクリックします。インストールには数分かかる場合があります。
7. プラグインのダウンロードが完了したら、**レポート** ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスを閉じます。
8. 最新のプラグインがインストールされたら、インストールされたプラグインのバージョンが表示されます。**次へ** をクリックします。
9. **フォルダを参照** ダイアログボックスで、ローカルドライブ上の ISO ファイルの保存先として指定するフォルダを選択し、**OK** をクリックします。
10. **Finish** (終了) をクリックします。
11. **承諾** をクリックして、セキュリティ警告を承諾します。

メモ: 別のサイトまたは Web ページからダウンロードの実行を試行し、セキュリティ警告が表示されたら、ファイルを受け入れます。ファイルの信憑性を確認するためのファイルの名前、発行元、証明の種類、および有効期限がウィンドウに表示されます。

12. SUU ISO の作成が完了したら、**レポート** ダイアログボックスが表示されます。レポート ダイアログボックスを閉じます。
13. 適切なソフトウェアを使用して、起動可能な ISO CD を作成します。

ISO ファイルにアクセスするには、起動可能 ISO の作成先である事前定義された場所に移動します。

SUU のエクスポート

選択した Dell 推奨バンドル、またはカスタムのバンドルを、完全に機能する SUU としてエクスポートできます。

Dell 推奨バンドルまたはカスタムバンドルを機能可能な SUU としてエクスポートするには、次の手順を行います。

1. マイリポジトリからリポジトリを開くか、**アプリケーション** からリポジトリをインポートします。
2. **バンドル** タブをクリックします。
3. 表示されたバンドルのリストからエクスポートするバンドルを選択して、**エクスポート** をクリックします。
4. **バンドルのエクスポート** ウィンドウで **SUU** としてエクスポートを選択し、以下のいずれかを選択します。
 - ・ **SUU** としてディレクトリにエクスポートを選択して提供されるディレクトリに SUU パックを作成します。
 - ・ **SUU** として ISO にエクスポートを選択して SUU パックの ISO イメージを作成します。

システムは、最新の SUU プラグインが利用可能かどうかを確認します。プラグインがある場合は、プラグインのバージョン番号が表示され、アプリケーションはエクスポートプロセスの続行を尋ねるプロンプトを表示します。

- ・ Repository Manager が必要な SUU プラグインが利用可能かどうかを確認している間、**必要なプラグインがインストールされているかどうかを確認しています...** ダイアログボックスが表示されます。
- ・ 最新のプラグインがすでにダウンロードされている場合は、Required plug-in found というメッセージが表示されません。

見つかったプラグインのバージョン番号も表示されます。

- ・ **ftp.dell.com** にアクセス可能で、システムに最新のプラグインが存在する場合は、**プラグインのアップデート** リンクが表示されます。このリンクをクリックすると、システムからプラグインがアップデートされます。
- ・ **ここをクリックしてプラグインをインストール** をクリックしてプラグインをインストールする場合、ftp.dell.com がアクセス不可で、システムにプラグインが存在しないときは、Plug-in file not found in configured location. Press "OK" to open Plug-in update settings. というエラーメッセージが表示されます。

メモ: システムがインターネットに接続されていて、**ftp.dell.com** がアクセス可能であることを確認してください。

5. **次へ** をクリックします。
6. **フォルダを参照** ウィンドウで、SUU をエクスポートするローカルドライブ上のフォルダに移動して、**OK** をクリックしたら、**OK** をクリックします。
7. **SUU** のエクスポート ジョブがジョブキューに移動します。ジョブキューリストの下に、**ステータス** と **進行状況** が表示されません。
8. **サマリのエクスポート** ウィンドウで **エラー/警告** をクリックして、エラーまたは警告がないかをチェックします。発生する可能性の別のエラーには以下のものがあります。
 - ・ コンポーネントのファイルタイプが、それが属しているバンドルと一致しない。例えば、Linux DUP が Windows のバンドルに表示される場合。
 - ・ コンポーネントのサポートされているプラットフォームが、サポートされているバンドルのリストに一致しない。例えば、PowerEdge R210 の BIOS に、PowerEdge T710 バンドルで表示される。
 - ・ バンドルでサポートされているオペレーティングシステムが Windows または Linux。例えば、M1000e バンドルを SUU にエクスポートする。他のオペレーティングシステムはエラーと見なされます。

i **メモ:** 複数のアップデートコンポーネントがバンドル内の同じデバイスに対して適用可能な場合、**Repository Manager** はカスタム **SUU** 内の最新バージョンのコンポーネントのみを維持します。この他のすべての重複コンポーネントはバンドルから削除されます

9. **Finish** (終了) をクリックします。

既知の問題とよくあるお問い合わせ (FAQ)

本項では、SUU に関する既知の問題と、よくあるお問い合わせ (FAQ) について説明します。

トピック：

- ・ 既知の問題
- ・ よくあるお問い合わせ (FAQ)

既知の問題

SUU における既知の問題には、次のようなものがあります。

Red Hat Enterprise Linux 7.2 オペレーティングシステムで SUU GUI を開くことができません

SUU GUI が Red Hat Enterprise Linux 7.2 (64 ビット) オペレーティングシステムで起動できない場合、次の操作を実行します。

- ・ ターミナルで次のコマンドを実行します。
 - `#echo -e "Section \"Device\"\nIdentifier \"Device0\"\nOption \"SWCursor\" \"True\"\nEndSection" > /etc/X11/xorg.conf.d/xorg.conf`
- ・ コマンドの完了時に内容が次のとおりであるか確認します。
 - `#cat /etc/X11/xorg.conf.d/xorg.conf`
 - `Section "Device"`
 - `Identifier "Edifice"`
 - `Option "SWCursor" "True"`
 - `EndSection`
- ・ コマンド、`#systemctl restart gdm.service` を入力して GDM サービスを再起動します。
コマンドの実行後にユーザーはログオフされます。

Microsoft Windows Small Business Server 2008 オペレーティングシステムにおけるインベントリエラー

Microsoft Windows Small Business Server 2008 オペレーティングシステムで実行されているシステムにログインすると、管理者権限を持っている場合でも一般ユーザーとしてログインされます。

- ① **メモ:** ユーザーアカウント制御 (UAC) と呼ばれる組み込み機能は、Windows オペレーティングシステムを実行するシステムに対するセキュリティ侵害の可能性を自動的に低減します。
- ① **メモ:** システムで SUU または DUP を実行する前に、グループポリシーエディタでセキュリティオプションを変更してください。

セキュリティオプションを変更するには、次の手順を実行してください。

1. スタート > ファイル名を指定して実行 の順にクリックして、`gpedit.esc` または `gpmc.msc` と入力します。
グループポリシーエディタ ウィンドウが開きます。
2. セキュリティオプションに移動します。
ポリシー ウィンドウが表示されます。
3. ユーザーアカウント制御：管理者承認モードでの管理者に対する昇格時のプロンプトの動作 に移動します。
4. 右クリックして、プロンプトなしで昇格 を選択します。

64 ビット Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムにおける DUP の失敗

64 ビット Red Hat Enterprise Linux オペレーティングシステムで DUP の実行に失敗した場合、以下の RPM を手動でインストールします。

- compat-libstdc++-33.i686
- libstdc++-4.4.4-13.el6.i686
- libxml2.i686
- libXp.i686
- libXtst.i686
- nss-softokn-freebl-3.12.9-11.el6.i686

 **メモ:** これらの RPM は、Red Hat Enterprise Linux 6 x64 メディアに収録されています。

オペレーティングシステムのデバイスを有効にする

SUU ではオペレーティングシステムで無効になっているデバイスのインベントリやアップデートは実行されませんが、比較レポートにこれらのデバイスが表示される場合があります。無効になっているデバイスをアップデートするには、オペレーティングシステムで適切な変更を行った後、SUU を再起動してください。

Linux システムライブラリ

Linux システムで SUU を実行するには **libstdc++-libc6.2-2.so.5** および **libstdc++-libc6.2-2.so.3** ライブラリが必要です。これらのライブラリは、システムに Red Hat Enterprise Linux がインストールされている場合に限り使用可能です。システムにこれらのライブラリがなく、サポートされているバージョンの Red Hat Enterprise Linux を実行している場合は、**RedHat.com** または『Red Hat CD』から **compat-libstdc++** RPM をインストールします。

Linux アップデートの実行

SUU は、DUP を使用してシステムのさまざまなコンポーネントをアップデートします。Linux アップデートの実行中、DUP は Linux の lockfile ユーティリティ (`/var/lock`) を使用して `.spsetup` ファイルを作成します。このファイルは、以下のいずれかの条件が発生したときに作成されます。

- カーネルパニック
- DUP プロシージャの実行中にシステムの再起動コマンドが発行されたため、TERM 信号が実行中のプロセスを中断または停止できなかった場合

上記のいずれかの条件が発生すると、`/var/lock/.spsetup` ファイルが作成されます。これにより SUU はアップデートの成功をレポートし、ユーザーにシステムの再起動を行うよう促します。再度 SUU を実行して比較レポート実行すると、比較プロシージャでデバイスステータスは変更なしとレポートされます。この状況でアップデートを行っていない場合は、`/var/lock/.spsetup` ファイルを削除してください。

Progress オプションを使用した SUU の実行

`-p` (progress) オプションを使用して SUU を実行すると、SUU アップデートのログの場所ではなく、現在のインスタンスのログの場所が通知されます。

複数デバイスのアップデート

同じシステム上で、複数の同じデバイスのアップデートを行う場合、SUU はすべてのデバイスのすべてのインスタンスにアップデートを適用します。たとえば、システムに3つのコントローラが構成されており、それぞれを実行するファームウェアまたはドライバのバージョン 1.1、1.2、1.3 で、かつリポジトリに含まれているバージョンが 1.2 であるとする、ファームウェアバージョン 1.2 のアップデートがすべてのデバイスに適用されます。

PERC ファームウェアのアップデート

システムに複数の PERC (PowerEdge Expandable RAID Controller) カードがインストールされている場合、すべての PERC カードのファームウェアをアップデートするには、SUU アップデートを複数回実行する必要があります。1回目の SUU アップデートで PERC カードのアップデートに失敗しても、複数回のアップデートを実行することによりすべてのカードをアップデートすることができます。

コントローラでアップデート以外のプロセス (整合性チェック、バックグラウンド初期化 (BGI) など) が実行されていると、PERC アップデートパッケージが失敗する可能性があります。アップデートパッケージを実行する前に、このようなプロセスが実行中でないことを確認してください。

同じセッションでのシステムインベントリの再起動

var または **tmp** フォルダに十分な空き容量がない場合、SUU で、同じセッション内のシステムインベントリを再起動することはできません。

Linux で、**var** または **tmp** フォルダに十分な空き容量がない場合、SUU にエラーメッセージ `Not enough space available in /var or /tmp folder. Make sure you have at least 100MB` が表示されます。

var または **tmp** フォルダに十分な空き容量があることを確認し、SUU を再起動してシステムインベントリを開始してください。

ネットワーク経由の SUU の実行

- ・ ネットワークから SUU を実行してシステムインベントリを実行中に、システムがネットワークから切断されると、SUU は空白の **比較レポート** を表示します。この **比較レポート** の内容を表示するには、ネットワークに接続していることを確認してから、SUU を再起動してください。
- ・ SUU がネットワークを介して実行され、**比較レポート** が表示されている場合、システムをネットワークから切断後に **アップデート** ボタンをクリックしても、SUU はいずれのコンポーネントをアップデートしません。コンポーネントをアップデートするには、ネットワークに接続していることを確認してから SUU を再起動してください。

一時フォルダの削除

ネットワークで SUU を実行すると、JRE によって、**<%システムドライブ%>:\Documents and Settings\<%ユーザー%>\Local Settings\Temp\hsperfdata_<%ユーザー%>** ディレクトリ (Microsoft Windows (W2ks システム) を実行しているシステム) および **/var** フォルダ (Linux を実行しているシステム) に一時ファイルが作成されます。これらの一時ファイルを削除します。

W2k8 システムについては、ファイルは、**<%システムドライブ%>:\users\<%ユーザー%>\AppData\Local\Temp\<番号>\hsperfdata_<%ユーザー%>** に作成されます。

H661 ファームウェアのアップデート

デルの第 12 世代以降の PowerEdge サーバでは、CERC ATA RAID コントローラが H661 ファームウェアで設定されている場合、SUU はファームウェアを最新バージョンにアップデートできません。ファームウェアをアップデートするには、**-force** オプションを使用して、最新ファームウェアバージョンを手動で DUP に適用してください。

RAC 仮想メディアの使い方

リモートで SUU を実行するために、システムで仮想メディアを使用しないでください。この手順によって仮想メディアの接続が切断され、SUU のアップデート手順が中断されます。

SUU ディレクトリ名での特殊文字の使用

SUU は、`"`、`:`、`/`、`\`、`$` などの特殊文字が含まれたディレクトリからは実行されません。例えば、SUSE Linux Enterprise Server オペレーティングシステムが実行されているシステムに USB ドライブを接続するとき、これはデフォルトで特殊文字が含まれているディレクトリ名にマウントされます。たとえば、`/media/USB:1:2/` などです。

SUU の実行中は、特殊文字のないディレクトリ名を使用することをお勧めします。

RAC DUP パッケージの実行

デルの第 12 世代以降の PowerEdge サーバでは、Remote Access Controller (RAC) DUP パッケージ (RAC 4/P または RAC 4/i) の実行中に SUU を起動すると、DUP パッケージのアップデートが停止します。この問題を解決するため、SUU は RAC DUP パッケージのアップデート完了後にのみ実行してください。

よくあるお問い合わせ (FAQ)

Linux システムで `suu -c` を実行すると、「インベントリコレクタの実行に問題があります」というエラーが表示されます。このエラーの原因と修正方法を教えてください。

SUU のサブコンポーネントであるインベントリコレクタには、システムに `libstdc++-libc6.2-2.so.3` 共有ライブラリが必要です。サポートされている Red Hat Enterprise Linux のバージョンを実行している場合は、**compat-libstdc++ RPM** を **RedHat.com** または『Red Hat CD』からインストールしてください。SUSE Linux Enterprise Server を実行している場合は、『SUSE Linux Enterprise Server CD』からこのライブラリをインストールしてください。

「デバイスの危険な取り外し」というタイトルのポップアップボックスが表示されるのは、なぜですか。

SUU アップデートの一環として、バックプレーンファームウェアのアップデートが必要です。フラッシュのアップデート中にオペレーティングシステムがバックプレーンにクエリを発行して、バックプレーンが応答しない場合、オペレーティングシステムはデバイスが危険な方法で取り外されたと解釈します。バックプレーンファームウェアのアップデート後、新しいデバイスが追加されたことを示すメッセージが表示されます。

SUU の GUI を使用してアップデートを実行すると、サーバーオブジェクトがツリーに表示されない原因をユーザーガイドで調べるようにというメッセージが表示されます。

アップデートを実行するには、サポートされているシステムで SUU を実行している必要があります。正しいユーザーアクセス権を持っている必要があります。詳細に関しては、Windows を実行しているシステムでは管理者権限を持っている必要があります。Linux を実行しているシステムではルート権限を持っている必要があります。サポートされているサーバとオペレーティングシステムのリストは、dell.com/openmanagemanuals で、『Dell Systems Software サポートマトリックス』を参照してください。

SUU を実行しているとき、比較レポートが表示されず、システムをアップデートできないのは、なぜですか？

Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムで SUU を実行するには、ローカル管理者権限が必要です。ローカル管理者権限を取得するには、ローカル管理者グループに属しているか、ローカル管理者アカウントを使用している必要があります。Linux を実行しているシステムでは、ルート (ユーザー ID : 0) ユーザーのみが比較レポートを表示してアップデートを実行できます。

SUU と同時に DUP を実行しようとする、「インベントリの処理が指定のタイムアウト時間を超えました」というメッセージが表示されます。なぜですか？

SUU と同時に別の DUP を実行すると、予期しない結果につながる可能性があります。SUU は DUP をバックグラウンドで実行します。したがって、DUP を別に実行しないでください。SUU か DUP のどちらか一方を実行し、両方を同時に実行しないでください。

SUU を開始できません。他の SUU インスタンスが実行されていないにもかかわらず、「SUU の別のインスタンスがすでに実行されています」というメッセージが表示されます。

Windows オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、Windows タスクマネージャを開き、**アプリケーション** タブをクリックして、SUU が実行されているかどうかを確認します。Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでは、ターミナルを開き、`ps -eaf | grep suu` コマンドを入力して、SUU が実行されているかどうかを確認します。SUU が実行されている場合は、アプリケーションを終了し、SUU を再起動します。SUU の他のインスタンスが実行されていない場合は、何らかの理由で SUU が突然シャットダウンした可能性があります。この場合は、ロックファイルが作成されています。Windows オペレーティングシステムが稼動するシステムでこれらのロックファイルを削除するには、`<%システムドライブ%>:\dell\suu` ディレクトリに移動し、`suu.lck` ファイルを削除します。Linux オペレーティングシステムを実行しているシステムでロックファイルを削除するには、`chattr -i suu.lck rm -f suu.lck` コマンドを実行します。これによりログディレクトリ (`/var/log/dell/suu`) からロックファイルが削除されます。

SUU を使用してアップデートした後、OpenManage Server Administrator を開始できません。

SUU を使用して OpenManage Server Administrator をアップデートした後、OpenManage Service Administrator の一部のサービスを実行できない場合があります。システムを再起動してから、OpenManage Server Administrator を開始してください。

SUU を使用して BIOS のバージョンをアップデートできません。

TCG 1.2 準拠の信頼済みプラットフォームモジュール (TPM) チップを搭載したシステムでは、次の場合、SUU と DUP を使用して BIOS をアップデートできません。

- ・ Microsoft Windows BitLocker ドライブ暗号化機能が有効になっている。
- ・ 信頼済みプラットフォームモジュール機能が (BIOS を使用して) 起動前測定で **オン** に設定されている。

 **メモ:** TPM のセキュリティ設定については、**Dell OpenManage Server Administrator** オンラインヘルプまたは dell.com/openmanagemanuals の『**Dell OpenManage Server Administrator ユーザーズガイド**』を参照してください。

SUU を実行できず、「**SUU** ログシステムでエラーが発生しました。ディスク容量が不足しています」というメッセージが表示されます。

SUU の実行中は、ログディレクトリ **<%システムドライブ%>:\dell\suu** (Windows オペレーティングシステムを実行しているシステム) および **/var/log/dell/suu** (Linux オペレーティングシステムを実行しているシステム) に、10 MB 以上の空き容量があることを確認してください。また、ログファイルを異なるディレクトリに保存することもできます。詳細に関しては、SUU コマンドラインオプションを参照してください。